

飯田市立病院経営強化プランの策定と病院第4次中期計画の一部改訂について

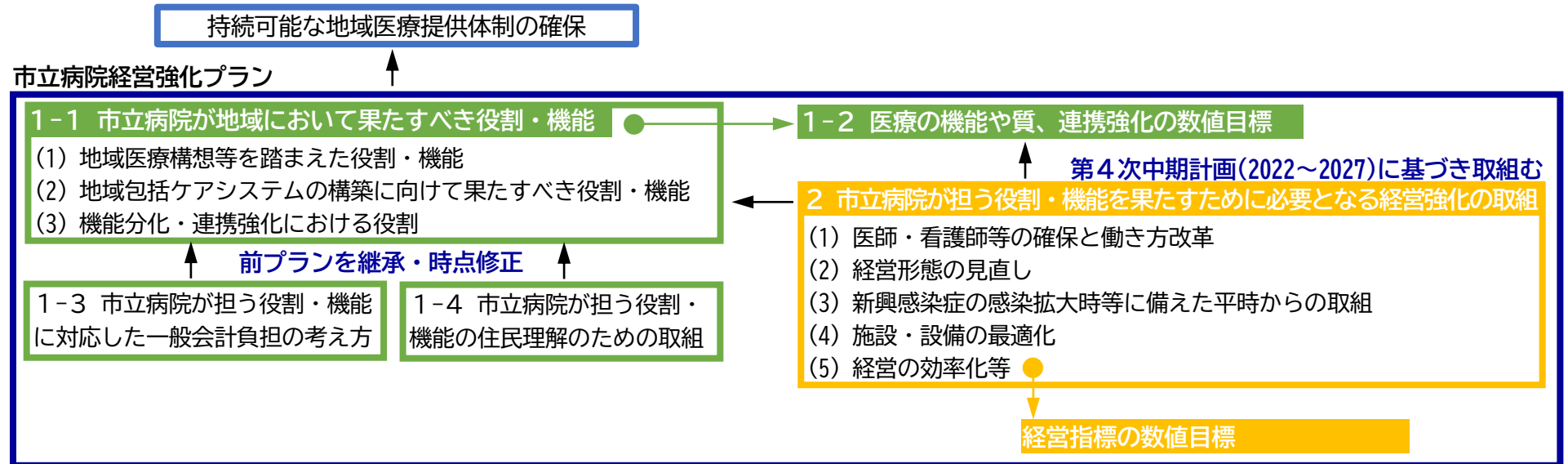
総務省の「公立病院経営強化ガイドライン」(2022.3「以下」G L)に基づき、病院事業を設置する地方公共団体に対し今年度又は来年度中に策定が要請されている「経営強化プラン」を策定する。また、同G Lに基づき、市立病院第4次中期計画(2022.3策定)に必要な取組を追加する改訂を行う。

I 経営強化プラン策定の趣旨

- 1 経過 2007(H19) 総務省「公立病院改革ガイドライン」→飯田市「市立病院改革プラン(2009(H21)～2013(H25))」
2015(H27) 総務省「新公立病院改革ガイドライン」→飯田市「市立病院新改革プラン(2017(H29)～2021(R3))」
⇒2009～2021年度 13年のうち11年で経常黒字を達成
- 2 策定の目的
 - ・持続可能な地域医療提供体制の確保のため、病院が地域において果たすべき役割・機能を改めて見直し、明確化
 - ・その役割、機能を果たすために必要な取組を定め、これに取り組むことにより病院経営を強化する

G Lから引用

3 位置付け、構成



- 4 プランの対象期間 2022(R4)年度～2027(R9)年度 6年間
- 5 プランの進行管理 実施状況を毎年度点検及び評価 → 議会へ報告・病院ホームページで公表

Ⅱ 経営強化プランの内容

太字：前プラン（新改革プラン2017-2021）から変更・追加した主な箇所

1-1 市立病院が地域において果たすべき役割・機能

(1) 地域医療構想等を踏まえた役割・機能	○現在の高度急性期、急性期、回復期の機能、病床数はプラン期間中は維持。環境変化に応じ機能や病床数の検討も行う ○当圏域唯一の感染症指定医療機関として、地域の関係機関と連携・役割分担して感染症へ対応
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能	○地域包括ケア病棟を開設し、急性期後を担う機能、在宅患者の急変を受け入れる機能、在宅復帰支援の機能を充実 ○在宅を支える診療所等との連携強化、病院併設の訪問看護の活用など「治し支える医療」の充実 ○出前健康講座や地域の医療従事者向けの研修など、地域住民の健康づくりや地域医療水準の向上に寄与
(3) 機能分化・連携強化における役割	○地域医療支援病院として紹介患者中心の医療を担う。かかりつけ医等と連携し紹介・逆紹介を推進。病院保有の高度医療機器の共同利用を促進 ○飯田下伊那診療連携システムism-Linkによる患者情報の共有化、地域の関連施設と妊婦情報を共有するシステムに参加 ○医師少数区域とされる当圏域内の他の病院等へ医師を派遣するなどの支援を行う

1-2 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標（最終年度の目標）

1) 医療機能に係るもの	▼救急車受入搬送件数3,500件/年
2) 医療の質に係るもの	▼入院患者満足度85%、▼外来患者満足度70%（とても満足・やや満足計）
3) 連携の強化等に係るもの	▼紹介率 ^{注1} 85%、▼逆紹介率 ^{注2} 100%
4) その他	▼地域医療のための放射線診断機器の共同利用回数延1,200回/年

注1 紹介率：初診患者数のうち、他の医療機関から紹介されて受診した患者数の割合

注2 逆紹介率：初診患者数に対する他の医療機関へ紹介（逆紹介）した患者数の割合

1-3 市立病院が担う役割・機能に対応した一般会計負担の考え方

地方公営企業は独立採算が原則だが、地域にとって必要な救急医療、高度医療などに要する経費は、一般会計等が負担すべき経費として法定されており、国が示す繰出基準に基づいた経費の負担を一般会計が行う

1-4 市立病院が担う役割・機能の住民の理解のための取組

病院広報誌や病院ホームページなどを通じた住民の理解のための取組を継続する

2 市立病院が担う役割・機能を果たすために必要となる経営強化の取組 【市立病院第4次中期計画(2022-2027)に基づき取組む】

項目	中期計画への追加内容
(1) 医師・看護師等の確保と働き方改革	①医師・看護師等の確保 ②臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保 ③医師の働き方改革への対応
(2) 経営形態の見直し	【5 健全な病院経営の推進】へ追加 (3) 最適な経営形態の研究 ・地域の人口減少や医療需要予測などを踏まえ、経営の強化に向けた最適な経営形態について情報収集

項目		中期計画への追加内容
(3) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組		や研究を行っていきます。 【1 安全・安心で良質な医療の提供 (4) 新興感染症への対応】へ追加 ⑤新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 ・感染拡大時に一般病床を専用病床とするなど感染症病床の確保について、あらかじめ計画し、院内で共有します。 ・感染症に対応する医療器械の整備や感染防護具等の備蓄を計画的に行います。 ・院内でクラスターが発生した場合を想定し、対応方針について院内で共有します。
(4) 施設・設備の最適化	①施設・設備の適正管理と整備費の抑制	【5 健全な病院経営の推進】へ追加 (2) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制 ・2022（令和4）年に策定した飯田市病院施設等長寿命化計画の基本的な方針に基づき、施設全体の建替ではなく、計画的な改修工事等を基本として施設の長寿命化を図ります。 ・高額な医療機器の導入等に関しては、高額医療機器購入等検討会議において機器の必要性や費用対効果を検討したうえで、導入・更新計画を毎年見直し、計画的に整備を進めます。
	②デジタル化への対応	【6 時代の変化に対応した病院づくり (4) 院内情報システムの整備推進と活用】へ追加 ・マイナンバーカードの健康保険証利用（オンライン資格確認）へ適切に対応するとともに、利便性の周知に努めます。
(5) 経営の効率化等		【5 健全な病院経営の推進】へ追加 (1) 経営効率化等の取組 健全な病院経営を進めるために必要不可欠な以下の経営効率化の取組について、関係部署において各年度の行動計画や組織目標を設定したうえで院内で共有し、取組を進めます。 ①収入増加・確保の取組 ▼DPCの分析等による課題把握と対策（係数、各種加算、対出来高比較等）、▼診療報酬改定への適切な対応、▼質の高い医療の実践による診療単価向上、▼病床の効率的な運用 ②経費削減・抑制の取組 ▼医薬材料費のベンチマーク分析等に基づく費用削減、▼委託料等、経費の不断の見直し、▼院内業務効率化に資するICT技術やシステムの導入 ③経営強化のための組織づくり ▼病院経営状況の院内理解の促進と経営への意識醸成、▼経営改善活動の推進

○経営指標に係る数値目標（最終年度の目標）

1) 収支改善に係るもの	▼経常収支比率100%以上、▼修正医業収支比率96%以上 ^{注3}
2) 収入確保に係るもの	▼一般病棟新規入院患者数842人/月、▼一般病棟入院単価（包括算定分 ^{注4} ）37,700円、▼一般病棟入院単価（出来高算定分 ^{注5} ）48,400円、▼外来単価（高松診療所除く）20,000円
3) 経費削減に係るもの	▼材料費の対医業収益比率24%以下
4) 経営の安定性に係るもの	▼資金残高 2021（令和3）年度末残高以上、▼企業債残高 2021（令和3）年度末残高以下

注3 修正医業収支比率：修正医業収益（医業収益－他会計負担金等）÷医業費用

注4 包括算定分：病名や診療内容に応じた分類群ごとに定められた額に医療機関別係数を乗じて算定される入院料

注5 出来高算定分：包括算定されない、手術料や麻酔料、リハビリテーション料などの入院料

3 経営強化プラン期間中の目標数値及び収支計画の見通し

○数値設定

患者数	医療需要予測に基づき、入院は2025(R7)に2019(R1)並みに戻る、外来は2019(R1)を基準に毎年1.5%減
診療単価	直近の平均増加率を基準に毎年増
給与費、経費	直近の平均増加率を基準に毎年増
材料費	対医業収益比率目標値で推移

○目標数値・収支計画の見通し

(1) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

番号	項目	単位	参考	見込	見通し				
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)
1)	救急車受入搬送件数	件/年	3,556	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
2-1)	入院患者満足度	%	-	82.9	84.0	84.0	85.0	85.0	85.0
2-2)	外来患者満足度	%	-	67.9	69.0	69.0	70.0	70.0	70.0
3-1)	紹介率	%	76.9	76.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
3-2)	逆紹介率	%	72.7	73.0	88.0	91.0	94.0	97.0	100.0
4)	放射線診断機器の共同利用回数	回/年	1,008	1,060	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200

(2) 経営指標に係る数値目標

番号	項目	単位	参考	見込	予算	見通し			
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)
1-1)	経常収支比率	%	102.1	97.8	93.4	95.8	99.5	100.9	100.4
1-2)	修正医業収支比率	%	90.9	88.7	90.4	92.8	95.1	96.8	96.5
2-1)	一般病棟新規入院患者数	人/月	775	752	782	782	812	842	842
2-2)	〃 入院単価（包括算定分）	千円	36.6	36.4	36.6	36.6	36.9	37.2	37.4
2-3)	〃 〃（出来高算定分）	千円	42.5	44.7	45.4	45.4	46.2	46.9	47.6
2-4)	外来単価（高松診療所除く）	千円	17.1	17.6	18.1	18.1	18.6	19.0	19.5
3)	材料費対医業収益比率	%	24.5	24.7	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0
4-1)	資金残高	百万円	5,332	5,105	4,679	5,049	5,576	6,325	6,959
4-2)	企業債残高	百万円	4,776	4,761	5,090	5,090	5,140	5,155	4,633
収支計画	経常損益	百万円	232	△318	△974	△604	△69	134	63

その他

総務省ガイドライン及び厚生労働省の通知に基づき、2023.2.2開催の飯伊医療圏地域医療構想調整会議において、原案（市立病院の役割・機能の部分）を協議に付し、同意を得た。